

press release

# 名品展 国宝「紅白梅図屏風」



令和6年2月2日(金) ~ 2月27日(火)

MOA美術館

展覧会概要

MOA美術館のコレクションは、創立者・岡田茂吉（1882～1955）が蒐集した日本・中国をはじめとする東洋美術を中心に構成されています。その内容は、絵画、書跡、彫刻、工芸等、多岐にわたり、各時代の美術文化を語る上で欠くことのできない作品を含んでいます。なかでも国宝「紅白梅図屏風」は、江戸中期の絵師・尾形光琳の最高傑作と高く評されています。本作品は二曲一双の金地を背景に白梅と紅梅を対峙させ、図案化した梅花や水流を配し装飾的な画面をつくりあげています。本展では、「紅白梅図屏風」をはじめ京焼の大成者・野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」、三大手鑑の一つとして著名な手鑑「翰墨城」の国宝3件の同時公開に加え、コレクションの各ジャンルを代表する名品を精選して展覧します。梅花咲き誇る2月、隣接する瑞雲郷梅園とともにぜひご鑑賞ください。

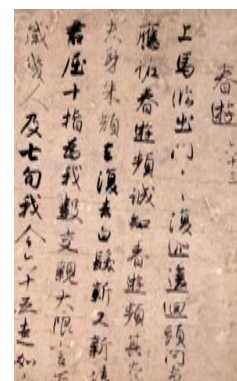
所蔵の国宝3点を  
同時公開



国宝 「紅白梅図屏風」  
尾形光琳  
江戸時代(18世紀)



国宝 「色絵藤花文茶壺」  
野々村仁清  
江戸時代(17世紀)



国宝 「手鑑 翰墨城」より 白氏文集切・春遊  
藤原行成  
平安時代

展覧会名：名品展 国宝「紅白梅図屏風」

会期：令和6年2月2日(金)～2月27日(火)

会場：MOA美術館

〒413-8511 熱海市桃山町26-2 TEL: 0557-84-2511 URL: <https://www.moaart.or.jp>

開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時迄)

休館日：木曜日

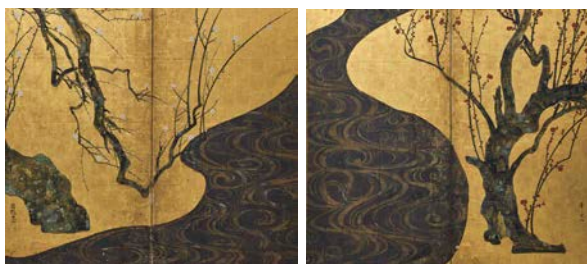
観覧料：一般1,600(1,300)円/高大生1,000(700)円・要学生証/中学生以下無料/65才以上1,400円・要身分証明

※( )内は10名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添い者(1名のみ)半額

※前売り券は、お近くのコンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート)でもお求めいただけます。

交通：JR東海道新幹線・東海道線 熱海駅下車、駅前バスターミナル⑧番乗り場よりMOA美術館行 約7分終点下車

主な展示作品



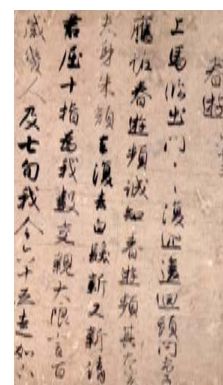
国宝 「紅白梅図屏風」 尾形光琳 江戸時代(18世紀)

尾形光琳は「風神雷神図屏風」で有名な俵屋宗達の作品に感化を受け独自の画風を築き上げたと言われています。水流を伴う紅梅・白梅の画題や二曲一双の左右に画材をおさめる構成のやり方がそれです。後に光琳梅として愛好される花びらを線書きしない梅花の描き方や蕾の配列、樹の幹にみられるたらし込み、更に他に類を見ない筆さばきをみせる水の文様など、こうした優れた要素が結集しています。



国宝 「色絵藤花文茶壺」  
野々村仁清  
江戸時代(17世紀)

色絵藤花文茶壺は、仁清の茶壺の中でも最高の傑作として名高く、京風文化の象徴的作品ともいえます。温かみのある白釉地の上に、咲き盛る藤の花が巧みな構図で描かれており、花と蔓は赤や紫・金・銀などで彩られています。バランスのとれた端正な姿は、色絵の文様とほどよく調和しています。



国宝 「手鑑 翰墨城」より 白氏文集切・春遊  
藤原行成  
平安時代

古筆とは、古人の書いたすぐれた筆跡のことです。古筆手鑑「翰墨城」は、「藻塩草」(京都国立博物館蔵)「見ぬ世の友」(出光美術館蔵)とともに、古筆三大手鑑の一つとして名高いものです。「翰墨城」の名は、翰(筆)と墨によって築かれた城という意味で、まさに名筆の宝庫に相応しい名称といえます。



重要文化財  
樹下美人図  
中国・唐時代(8世紀)



重要文化財  
色絵桃花文皿  
江戸時代(17世紀末~18世紀初期)



重要文化財  
山水人物蒔絵手箱  
鎌倉時代(14世紀)

広報画像をご希望の方は、必要事項をご記入のうえメールまたはFAXにてお申し込みください。

Email: moaart-info@moaart.or.jp

FAX: 0557-84-2570 MOA美術館 広報宛て

## 広報画像申込書

MOA美術館 広報画像を希望します。

貴社名

ご所属

お名前

ご住所

TEL

FAX

E-mail

媒体名

掲載予定日/放送予定日

年 月 日 発売/放送予定

掲載概要、予定文字・ページ数など  
(お分かりになる範囲でお願いいたします。)

貸出し希望画像番号

## 広報画像



1



2



3



4



5



6

[1] 国宝 「紅白梅図屏風」 尾形光琳 江戸時代 (18世紀)

[2] 国宝 「色絵藤花文茶壺」 野々村仁清 江戸時代 (17世紀)

[3] 国宝 「手鑑 翰墨城」より 白氏文集切・春遊 藤原行成 平安時代

[4] 重要文化財 「樹下美人図」 中国・唐時代(8世紀)

[5] 重要文化財 「色絵桃花文皿」江戸時代 (17世紀末~18世紀初期)

[6] 重要文化財 「山水人物蒔絵手箱」鎌倉時代 (14世紀)

〈広報画像取扱いに関する規定〉

◎広報画像はすべてMOA美術館を紹介する場合に限ります。事前の申請・承諾なく二次利用いたしません。

◎広報画像を紹介する場合には、指定されたクレジットを併記します。

◎トリミング、変形、部分使用、文字のせは無断で行いません。

◎〈広報画像取扱いに関する規定〉に承諾のうえ、画像申込みを行います。

〈個人情報の取扱いについて〉

ご記入いただきました個人情報は、広報からの情報発信やご案内など必要なご連絡にのみ使用いたします。許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。

MOA美術館 広報

E-mail:

moaart-info@moaart.or.jp